

～お客さま第一主義をモットーに、
さらなる飛躍を目指します～

わたくしたちファースト住建株式会社は、『住宅メーカーのプロフェッショナル集団として、住宅づくりにおいて社会へ貢献すること』を企業理念にかかげ、平成11年に設立した会社です。

お客さま第一主義をモットーに基礎工事から内装工事までのすべてにおいてこだわりを持ち続けております。専門の技術者による地質調査からはじまる各種検査によって、住宅のすみずみまで目を配り、「安心して快適な住空間」をプロデュースいたします。お客さまに良質な住宅をお手ごろな価格で提供するためにはどんな小さな妥協も許しません。

おかげさまで業績も着実な伸びを見せ、業容も拡大し、昨期には名古屋に支店を開設し、近畿圏に加え中部圏への進出も果たしました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と厚くお礼申し上げます。

ライフスタイルも多様化し住宅においても個性が求められ、時代は今少子高齢化社会を迎えております。こうした時代背景を思うとき、今後当社が果たすべき役割はさらに大きなものがあると思います。わたくしたちファースト住建は、今後もお客様にご満足していただける企業となるため全社一丸となって邁進する所存であります。今後とも、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます

平成21年11月30日
代表取締役社長 中島 雄司

平成 2 1 年 1 1 月 3 0 日

関係者各位

兵庫県尼崎市東難波町 5 丁目 6 番 9 号



ファースト住建株式会社
代表取締役 中島 雄司

1 ご挨拶

厳寒の候、時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。
平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

過日公表させて頂いておりますとおり、去る平成 1 9 年 7 月 2 7 日及び平成 2 0 年 1 月 2 9 日、弊社が販売致しました住宅の一部におきまして、外部に業務委託しております建築士による計算ミスにより建築基準法が規定する壁量を満たさない物件があったことが判明し、弊社の住宅をご購入頂いたお客様をはじめとする関係各者の方々に多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたこと、改めまして深くお詫びを申し上げます。

2 現在の対応状況について

問題が発覚するまでに弊社が建築、販売致しましたすべての住宅の壁量につきましては設計図に基づいて自主点検を実施して参りました。あわせて壁量が不足していることが判明した住宅につきましては、ただちにお住まいのお客様にお詫びとご説明をさせて頂き、壁量の基準値を十分に満たす為の改修工事を最優先の業務として実施して参りました。その結果、お客様のご理解とご厚情をもちまして順次改修工事のご承諾を頂くことができました。また壁量の基準値を十分に満たす為の改修工事

につきましては9割を超す住宅への工事を終了することができ、引き続きお客様に安心してお住まい頂けるようになりました。

3 再発防止策について

弊社では、問題発覚以降、再発防止のため、また一層建物の安全性を確保するために、管理体制の強化に努めております。

- ① 建物の横揺れに対応する耐力壁の安全率を建築基準法が定める基準値の1.3倍とする。
- ② これまで外部の設計事務所に委託してきた2階建て住宅の壁量計算についてすべて自社でも再チェックする。
- ③ 品質向上を一層充実させるために、人員を増員して現場における工事監理体制のさらなる強化を図る。

上記再発防止策の取組により二度と同じ過ちを繰り返すことがないよう鋭意努めて参る所存でございます。

4 最後に

弊社では、今後もお客様に喜んでお住まい頂ける住宅造りに全力をあげて邁進する所存でございます。今後とも、倍旧のご厚情を賜りますようお願いを申し上げます。